

令和3年度使用中学校用教科書

選 定 資 料

美 術 編

令 和 2 年 6 月

愛 知 県 教 育 委 員 会

美術

教科書選定の基本的な考え方

○ 学習指導要領の目標で示された資質・能力の育成を図ることができること

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
- (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

○ あいちの教育の基本理念に照らして適切な事項が示されていること

「自らを高めること」と「社会に役立つこと」を基本的視点とした「あいちの人間像」の実現
(「あいちの教育ビジョン2020」より)

選定資料（美術）作成の観点・着眼点

観 点	着 眼 点
1 学習指導要領との関連	ア 教育基本法、学校教育法に則った学習指導要領の趣旨を踏まえ、効果的に編集されているか。
2 「あいちの教育の基本理念」との関連	ア あいちの教育ビジョン2020に掲げられた「あいちの教育の基本理念」に資する特色が見られるか。
3 内 容 等	(1) 内容の選択 ア 我が国の伝統や文化、現代の社会生活の変化や今日的課題等を踏まえた題材や教材の精選がされているか。 イ 身の回りの生活や社会の中の美術文化と豊かに関わる教材が、適切に選ばれているか。 ウ 他教科との関連を考慮して、適切に題材が選ばれているか。
	(2) 内容の程度 ア 各学年の発達段階や個人差への工夫がされているか。 イ 地域や学校の実情に合わせて使用しやすい内容となっているか。 ウ 生徒の発想や構想に対応できる多様な表現や、材料や道具の扱いについて取り上げられているか。 エ 補足的な学習や発展的な学習の内容は適切に提示されているか。
	(3) 内容の構成 ア 各学年や2領域の内容は、関連・系統的に組織立てられているか。 イ 各内容の分量及び配列のバランスは適切であるか。 ウ 図版・図表・写真とその説明の内容・配列・分量は適切であるか。
4 表記・表現及び使用上の便宜等	ア 安全面について適切な配慮がされているか。 イ 生徒の学びに向かう力を高めるよう、適切に表記・表現されているか。 ウ 本文記述と図版・挿絵・イラスト・写真・図表等が適切に関連付けられているか。 エ 目次・注・資料等は、利用しやすいように工夫されているか。
5 印刷・造本等	ア 印刷の鮮明度、文字の大きさ、書体、色彩等は適切であるか。 イ ユニバーサルデザイン化が図られているか。 ウ 造本の堅ろうさや体裁は適切であるか。

観 点	着 眼 点
1 学習指導要領との 関連	ア 教育基本法、学校教育法に則った学習指導要領の趣旨を踏まえ、効果的に編集されているか。

(注) 特徴・長所等欄の各項目先頭の符号は、着眼点との関連を表す。

発行者	特 徴 ・ 長 所 等
9 開 隆 堂	<p>ア 身近な造形物の工夫された色や形を取り上げることで、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力の育成を意図した編集となっている。</p> <p>ア 鑑賞の方向性を示したり、作者の言葉を取り上げたりすることで、表現の意図を理解できるよう工夫されている。</p>
38 光 村	<p>ア 身近な題材をもとにした鑑賞や表現活動を取り上げることで、生活や社会の中の美術文化と豊かに関わる資質・能力の育成を意図した編集となっている。</p> <p>ア 作品鑑賞の視点を示すことで、作者の思いや表現の意図を理解できるよう工夫されている。</p>
116 日 文	<p>ア ものや事象の見方や感じ方等の視点を重視した構成であり、心豊かな生活を創造していく態度を養うことを意図した編集となっている。</p> <p>ア 鑑賞作品の造形的な視点を示すことで、作品のよさや美しさをより理解できるよう工夫されている。</p>

観 点	着 眼 点
2 「あいちの教育の基本理念」との関連	ア あいちの教育ビジョン2020に掲げられた「あいちの教育の基本理念」に資する特色が見られるか。

(注) 特徴・長所等欄の各項目先頭の符号は、着眼点との関連を表す。

発行者	特 徴 ・ 長 所 等
9 開 隆 堂	<p>ア 身近なものや事象の中から、新たな視点や切り口を示すことで、多様性を促す配慮がなされている。</p> <p>ア 美術家やデザイナー等、社会で活躍する人々からのメッセージが記載され、美術の力を生かした社会との関わり方について、紹介されている。</p>
38 光 村	<p>ア 生活や社会の中にある美術の存在を紹介することで、生涯学習として美術を学び続けることの意義を示している。</p> <p>ア 美術家やデザイナー等、社会で活躍する人々の活動や言葉が示されており、職業への意識や、勤労を重んじる態度が養われるよう配慮されている。</p>
116 日 文	<p>ア 様々な諸外国の作品や歴史遺産を取り上げることで、異文化に対する理解を深め、視野を広げる構成となっている。</p> <p>ア 科学者や料理家等、社会で活躍する人々の美術との関わりを示す言葉を取り上げ、美術の学びが未来の生活につながることを考えられるよう工夫されている。</p>

<p>3 内容等 (1) 内容の選択</p>	<p>ア 我が国の伝統や文化、現代の社会生活の変化や今日的課題等を踏まえた題材や教材の精選がされているか。</p> <p>イ 身の回りの生活や社会の中の美術文化と豊かに関わる教材が、適切に選ばれているか。</p> <p>ウ 他教科との関連を考慮して、適切に題材が選ばれているか。</p>
----------------------------	---

(注) 特徴・長所等欄の各項目先頭の符号は、着眼点との関連を表す。

発行者	特 徴 ・ 長 所 等
<p>9 開 隆 堂</p>	<p>ア 木版画や木工、焼き物といった伝統工芸作品を扱った題材や、環境問題を提起する共同制作等が掲載され、今日的課題について考えが深まるよう配慮されている。</p> <p>イ 身の回りにある造形物やデザイン等が取り上げられ、生活全般で美術を愛好する態度が養われるよう配慮されている。</p> <p>ウ 国語科や社会科等の教科と関連する美術作品等を意図的に取り扱うなど、工夫された構成となっている。</p>
<p>38 光 村</p>	<p>ア 日本各地の伝統工芸や世界文化遺産を紹介したり、文化財を掲載したりするなど、日本の伝統文化等への理解や親しみが深まるよう配慮されている。</p> <p>イ 日常生活の中で触れられるデザインや文化について、多様な図版やイラストを効果的に使って紹介している。</p> <p>ウ 他教科とのつながりを示したコラムが設定されており、横断的な学びを意識しながら、表現や鑑賞の活動を行う構成となっている。</p>
<p>116 日 文</p>	<p>ア 日本の伝統文化や異文化への理解に関わる題材や工芸作品、美術作品等が掲載され、実際に表現したり鑑賞したりすることでそのよさを理解できる内容となっている。</p> <p>イ 社会問題や地域文化等が取り上げられ、美術の学習が生活や社会とつながっていることが示されている。</p> <p>ウ 道徳の学習と関連する内容にマークを示し、豊かな情操と道徳心を養うことのできる題材を掲載している。</p>

観 点	着 眼 点
3 内容等 (2) 内容の程度	<p>ア 各学年の発達段階や個人差への工夫がされているか。</p> <p>イ 地域や学校の実情に合わせて使用しやすい内容となっているか。</p> <p>ウ 生徒の発想や構想に対応できる多様な表現や、材料や道具の扱いについて取り上げられているか。</p> <p>エ 補充的な学習や発展的な学習の内容は適切に提示されているか。</p>

(注) 特徴・長所等欄の各項目先頭の符号は、着眼点との関連を表す。

発行者	特 徴 ・ 長 所 等
9 開 隆 堂	<p>ア 各学年の発達段階に合わせて、多様な作品例を示し、自ら課題を見付け試行錯誤しながら表現対象や主題、材料や制作方法等を選択・決定できる提示がされている。</p> <p>イ 日本各地の郷土の造形が掲載され、身近な地域の中の実情に合わせて活用できるように配慮されている。</p> <p>ウ 発想や構想のヒント、手立て等を示すとともに、まとめの資料及び表現のための技法理解、鑑賞材料等が提示されている。</p> <p>エ SDGs の考え方を紹介したり、リノベーションの事例とその意図を掲載したりして、環境や共生について発展的に学習できる構成となっている。</p>
38 光 村	<p>ア 図画工作科の学習で身に付けた資質能力をさらに深め、歴史や社会との関係に視野を広げるなど、学年の発達段階に応じた内容が構成されている。</p> <p>イ 地域の工芸作品、民族衣装等、郷土で育まれた美術文化や身近な生活の中で目にする題材が紹介されている。</p> <p>ウ 発想の手助けや学習を支える資料が掲載されており、基礎的な材料や用具の資料がまとめられている。</p> <p>エ 平和や人権、多様性への配慮等、現代的な諸課題に対応する題材が掲載され、持続可能な社会への関心や、主体的な取組を促すような発展的な構成がされている。</p>
116 日 文	<p>ア 小学校で身に付けたことが活用できる題材、試行錯誤しながら学びを実感する題材、自分の内面を見つめ社会を意識する題材が学年の発達段階に応じて設定されている。</p> <p>イ 伝統工芸や伝統文化を題材とした作品を取り上げ、地域文化を活かす活動が紹介されている。</p> <p>ウ 材料や道具の扱い方を交えて制作の過程を示すことで、生徒の発想や構想を生み出す工夫がされている。</p> <p>エ 国際理解や平和、人権等の現代的な諸課題について、美術科との関わりを通して考えを深める発展的な学習活動が例示されている。</p>

観 点	着 眼 点
3 内容等 (3) 内容の構成	ア 各学年や2領域の内容は、関連・系統的に組織立てられているか。 イ 各内容の分量及び配列のバランスは適切であるか。 ウ 図版・図表・写真とその説明の内容・配列・分量は適切であるか。

(注) 特徴・長所等欄の各項目先頭の符号は、着眼点との関連を表す。

発行者	特 徴 ・ 長 所 等
9 開 隆 堂	ア 表現と鑑賞の関連を重視し、第1学年で基礎・基本を押さえ、第2・3学年で系統的、発展的な内容が学べるよう配慮されている。 イ 「絵や彫刻など」「デザインや工芸など」を均等に配置し、「鑑賞」を独立させて、それぞれの内容に系統性をもたせて配置している。 ウ 関連して学習する内容が掲載されているページは、適宜参照しながら学習が進められるようにマークが記され、ページ番号や題材名が示されている。
38 光 村	ア 表現と鑑賞の関連を重視し、第1学年で基礎・基本を押さえ、第2・3学年ではテーマに関連する作品を多く掲載するなど、系統的に学べるよう配慮されている。 イ 「絵や彫刻など」「デザインや工芸など」とそれぞれ領域に関連した「鑑賞」を交え、各学年の内容に系統性をもたせて配置している。 ウ 図版の間隔を開けたり、罫線を引いたりすることで、写真や図表等の資料が使いやすくなるような構成となっている。
116 日 文	ア 表現と鑑賞の関連を重視した構成で、第1学年で基礎・基本を押さえ、第2・3学年ではより社会的な視点をもって学べるような題材が掲載されている。 イ 「絵や彫刻など」「デザインや工芸など」とそれぞれ領域に関連した「鑑賞」を交え、各学年の内容に系統性をもたせて配置している。 ウ 作家や生徒の作品の図版に、説明文や作者の言葉を添えて掲載するとともに、題材ごとに造形的な視点を提示することで、効果的に鑑賞できるよう工夫されている。

観 点	着 眼 点
4 表記・表現及び使用上の便宜等	<p>ア 安全面について適切な配慮がされているか。</p> <p>イ 生徒の学びに向かう力を高めるよう、適切に表記・表現されているか。</p> <p>ウ 本文記述と図版・挿絵・イラスト・写真・図表等が適切に関連付けられているか。</p> <p>エ 目次・注・資料等は、利用しやすいように工夫されているか。</p>

(注) 特徴・長所等欄の各項目先頭の符号は、着眼点との関連を表す。

発行者	特 徴 ・ 長 所 等
9 開 隆 堂	<p>ア 用具の安全な使い方や安全に関する注意点について、マークを用いて分かりやすく示している。</p> <p>イ 美術科における確かな学びを実感できるように、各題材の左側ページで学習のポイントを示し、右側ページで参考作品を提示するよう工夫されている。</p> <p>ウ 工程や用具の扱い方について図版や写真を効果的に使って示し、技能を正確に習得できるよう工夫されている。</p> <p>エ 分類表示が見やすく色分けされ、作品の図版には、作品名や作家名のデータにあわせて、図番号が付けられている。</p>
38 光 村	<p>ア 用具の配置例や金属加工など注意すべき事項について、マークや色分けを用いて分かりやすくなるよう工夫されている。</p> <p>イ 導入時の疑問や教科書の使い方等、意欲を喚起する問いが配置され、マッピング等の発想を促進する方法が多く示されている。</p> <p>ウ 題材の目標を表した参考作品や原寸大の鑑賞作品等が掲載され、発想や構想の意図が分かるよう工夫されている。</p> <p>エ 目次を折り込みページとすることで、目次を見ながら題材の内容や掲載されているマークを確認することができるよう工夫されている。</p>
116 日 文	<p>ア マークと色を用いて安全面や活動する際の注意を促すとともに、道具の正しい使い方について、図を用いて具体的に示している。</p> <p>イ 造形的な視点や中心となる考え方を意識して題材に取り組むことができるように、イメージが広がりやすい言葉が選択されている。</p> <p>ウ テキストや図版、矢印等をバランスよく配置し、発想の手順や学びのヒント、着目させたいポイントが工夫されている。</p> <p>エ 制作方法が図示されたり、材料や用具の取扱い方が巻末にまとめられ、いつでも参照できるようになっていたりするなど工夫がされている。</p>

観 点	着 眼 点
5 印刷・造本等	<p>ア 印刷の鮮明度、文字の大きさ、書体、色彩等は適切であるか。</p> <p>イ ユニバーサルデザイン化が図られているか。</p> <p>ウ 造本の堅ろうさや体裁は適切であるか。</p>

(注) 特徴・長所等欄の各項目先頭の符号は、着眼点との関連を表す。

発行者	特 徴 ・ 長 所 等
9 開 隆 堂	<p>ア 印刷が鮮明であり、鑑賞作品の写真等における微妙な表現や質感が再現できるように工夫されている。</p> <p>イ 文章の折り返しを読みやすくするとともに、誰にでも読みやすいフォントを用いるなどユニバーサルデザインに配慮されている。</p> <p>ウ 表紙・裏表紙には見返しを付け、ビニル加工が施され、長期間の使用に耐えうる製本となっている。</p>
38 光 村	<p>ア 印刷が鮮明であり、版画や絵巻物には専用の用紙を使用するなど、作品の微妙な表現や質感が再現されている。</p> <p>イ A4サイズで扱いやすく製本されており、読みやすいフォントやインクを用いるなどユニバーサルデザインに配慮されている。</p> <p>ウ 造本はポリプロピレン加工が施されて耐水性があり、堅ろうで開きやすいように綴じられている。</p>
116 日 文	<p>ア 通常ページと見開きページとの紙質や厚さを使い分け、作品の材質感や色彩等、忠実な再現が図られるなど、見せ方の工夫がされている。</p> <p>イ 題材の領域や分野を示すアイコンを使用し、作品のコントラストやフォント、背景色等に配慮されている。</p> <p>ウ 表紙は耐水性のあるコート紙を使用し、見開きがしやすいようにあじろ綴じで製本されている。</p>

発行者・書名一覧

発行者の番号・略称	発 行 者	書 名
9 開隆堂	開隆堂出版株式会社	美術1 発見と創造 美術2・3 探求と継承
38 光村	光村図書出版株式会社	美術1 美術2・3
116 日文	日本文教出版株式会社	美術1 美術との出会い 美術2・3上 学びの実感と広がり 美術2・3下 学びの探求と未来